

平成25年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成25年5月14日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 倉元製作所
 コード番号 5216 URL <http://www.kuramoto.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 聡
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 柴田 哲

TEL 0228-32-5111

四半期報告書提出予定日 平成25年5月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第1四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第1四半期	1,679	21.4	49		78		86	
24年12月期第1四半期	2,136	2.6	34		40		51	

(注) 包括利益 25年12月期第1四半期 66百万円 (%) 24年12月期第1四半期 35百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第1四半期	5.36	
24年12月期第1四半期	3.21	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第1四半期	12,111	3,184	26.3	197.28
24年12月期	12,220	3,250	26.6	201.39

(参考) 自己資本 25年12月期第1四半期 3,184百万円 24年12月期 3,250百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期		0.00		0.00	0.00
25年12月期					
25年12月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,000	11.8	80	63.1	0		0		0.00
通期	9,000	1.2	870	59.4	650	58.6	550	49.7	34.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 有
修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期1Q	16,143,170 株	24年12月期	16,143,170 株
期末自己株式数	25年12月期1Q	880 株	24年12月期	880 株
期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期1Q	16,142,290 株	24年12月期1Q	16,142,290 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成25年1月1日～平成25年3月31日）におけるわが国経済は、新政権とその新たな経済政策への期待感等から円安の進行や株価の上昇が一段と進んだことを背景に、輸出企業などに収益の改善が見られたものの、欧州財政問題の長期化懸念や中国を含む新興国の経済成長の減速等により、先行きが不透明な状況のまま推移しました。

当社グループの〔ガラス基板事業〕はタッチパネル用成膜加工の受注は伸張したものの、その他の受注においては、在庫調整の影響などにより低調に推移しました。また、〔精密研磨布事業〕は需要鈍化によるハードディスクドライブ（HDD）の在庫調整が長引き、受注は伸び悩みました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,679百万円（前年同四半期比21.4%減）に、損益面では〔ガラス基板事業〕における操業度低下等の影響を受け、営業損失は49百万円（前年同四半期の営業損失は34百万円）に、経常損失は78百万円（同経常損失は40百万円）に、四半期純損失は86百万円（同四半期純損失は51百万円）となりました。

〔ガラス基板事業〕

ガラス基板事業においては、スマートフォンやタブレットPCの市場拡大によりタッチパネル用成膜加工の受注伸張があったものの、その他の部門が低迷し、売上高は1,101百万円（前年同四半期比20.8%減）に、セグメント損失は13百万円（前年同四半期セグメント損失は75百万円）となりました。

〔精密研磨布事業〕

精密研磨布事業は、HDD搭載型パソコンの需要減退等に伴うHDDの在庫調整が長引き、受注が伸び悩みました。この結果、売上高は524百万円（前年同四半期比24.5%減）に、セグメント利益は13百万円（同81.6%減）となりました。

〔その他事業〕

その他事業は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業用機械製造販売等を含んでおります。同セグメントにおいては石英ルツボ等製造販売の石英事業から撤退した影響により、売上高は65百万円（前年同四半期比75.5%減）に、セグメント損失は58百万円（前年同四半期セグメント損失は5百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（資産の部）

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて109百万円減少し、12,111百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少などにより338百万円減の4,238百万円に、固定資産は、設備投資などにより229百万円増の7,873百万円となりました。

（負債の部）

負債は、借入金の返済などにより43百万円減少し、8,926百万円となりました。

（純資産の部）

純資産は、四半期純損失の計上に伴い利益剰余金の欠損が拡大したため、66百万円減少の3,184百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

市場環境の不透明感はありますが、当社グループでは得意先のニーズを的確に捉え、新たな付加価値のための技術構築に注力するとともにモノづくり力を一層強化し、今後の収益の確保に努めてまいります。

平成25年12月期の通期業績予想については、平成25年2月14日の「平成24年12月期決算短信」公表時の予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更
(減価償却方法の変更)

当社グループは、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、過年度より抜本的な経営体質の改善及び収益基盤の強化を継続実施しております。当第1四半期連結累計期間においては、[ガラス基板事業]での一時的な受注の減少により、営業損失49百万円、経常損失78百万円を計上するに至っておりますが、第2四半期以降においては、受注の回復が見込まれており、収益構造の改善及びキャッシュ・フローの安定化が引き続き図られております。その一方で、取引金融機関に対する借入金の返済猶予の状況は継続しており、取引金融機関によって期限の利益の確保が短期にとどまっている状況となっております。これにより、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

そこで、当社グループは当該状況を解消するための対応策として、ますます収益構造及びキャッシュ・フローを安定化すべく経営体質のさらなる改善を推し進めるとともに、それらを反映した事業計画を策定し、これに基づく借入金返済計画について取引金融機関からの同意を得られるよう協議しております。その結果、全ての金融機関から返済計画に対する一定の同意が得られております。

以上を踏まえ、収益構造及びキャッシュ・フローの安定化と取引金融機関からの一定の同意が得られていること等を総合的に勘案した結果、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,449,149	1,409,912
受取手形及び売掛金	2,200,237	1,889,233
商品及び製品	117,602	136,959
仕掛品	268,615	298,028
原材料及び貯蔵品	276,866	244,115
繰延税金資産	219,431	215,485
その他	45,360	44,828
貸倒引当金	△320	△279
流動資産合計	4,576,942	4,238,283
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,336,209	2,297,032
機械装置及び運搬具（純額）	1,446,743	1,421,845
土地	3,458,305	3,458,305
その他（純額）	109,111	313,308
有形固定資産合計	7,350,369	7,490,492
無形固定資産	78,433	82,916
投資その他の資産	215,209	299,630
固定資産合計	7,644,013	7,873,039
資産合計	12,220,955	12,111,323
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	592,585	638,512
短期借入金	4,655,422	4,599,646
1年内返済予定の長期借入金	352,340	333,969
未払金	447,108	486,224
未払法人税等	62,100	11,866
賞与引当金	—	31,542
その他	155,315	182,871
流動負債合計	6,264,871	6,284,632
固定負債		
長期借入金	1,973,020	1,899,814
繰延税金負債	17,901	27,104
退職給付引当金	105,481	108,557
役員退職慰労引当金	506,339	507,514
その他	102,375	99,149
固定負債合計	2,705,117	2,642,140
負債合計	8,969,989	8,926,772

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,885,734	4,885,734
資本剰余金	6,335,992	6,335,992
利益剰余金	△8,003,598	△8,090,142
自己株式	△411	△411
株主資本合計	3,217,717	3,131,173
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,248	53,377
その他の包括利益累計額合計	33,248	53,377
純資産合計	3,250,965	3,184,550
負債純資産合計	12,220,955	12,111,323

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)
売上高	2,136,702	1,679,486
売上原価	1,878,066	1,420,915
売上総利益	258,636	258,571
販売費及び一般管理費	292,807	308,144
営業損失(△)	△34,171	△49,572
営業外収益		
受取利息	609	441
補助金収入	40,070	9,445
その他	9,627	8,213
営業外収益合計	50,306	18,100
営業外費用		
支払利息	48,729	42,041
その他	8,162	5,428
営業外費用合計	56,892	47,470
経常損失(△)	△40,756	△78,941
特別損失		
固定資産除却損	116	0
特別損失合計	116	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△40,872	△78,941
法人税、住民税及び事業税	14,355	3,724
法人税等調整額	△3,369	3,878
法人税等合計	10,986	7,602
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△51,859	△86,544
四半期純損失(△)	△51,859	△86,544

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△51,859	△86,544
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	16,191	20,129
その他の包括利益合計	16,191	20,129
四半期包括利益	△35,667	△66,415
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△35,667	△66,415

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成24年1月1日 至平成24年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ガラス基板	精密研磨布	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,389,834	628,161	2,017,995	118,706	2,136,702	—	2,136,702
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	67,135	67,135	147,133	214,268	△214,268	—
計	1,389,834	695,297	2,085,131	265,840	2,350,971	△214,268	2,136,702
セグメント利益又は損 失 (△)	△75,572	75,222	△349	△5,551	△5,901	△28,270	△34,171

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石英事業、産業用機械事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△28,270千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成25年1月1日 至平成25年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ガラス基板	精密研磨布	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,101,393	517,393	1,618,786	60,700	1,679,486	—	1,679,486
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	7,396	7,396	4,391	11,787	△11,787	—
計	1,101,393	524,789	1,626,182	65,091	1,691,274	△11,787	1,679,486
セグメント利益又は損 失 (△)	△13,880	13,804	△75	△58,900	△58,975	9,403	△49,572

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業用機械事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額9,403千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。